

# 予 算 要 求 資 料

令和4年度6月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

## 事業名【新】木材生産緊急対策事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林経営課 スマート林業推進係 電話番号：058-272-1111(内3252)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 57,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	57,000	0	0	0	0	0	0	0	57,000
決定額	57,000	57,000	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

コロナ禍での世界的な木材需要急拡大と供給不足に伴うウッドショック等による木材価格の高騰が続く中、ロシア・ウクライナ情勢の影響により、海外からの木材調達が益々不確実となっている。これに伴い、県産材の需要が更に増加し、供給不足と価格急騰が危惧されている。

需要の急増に応え原木を増産するとともに、需要の変動に迅速に対応し、需要に応じた安定的な木材生産体制の構築が急務となっている。

そこで、県産材の供給者(木材市場等)、加工者(製材工場等)、需要者(工務店等)と安定取引協定を締結するなど、県産材の安定供給システムの構築に取り組む林業事業者に対し高性能林業機械の導入等を支援し、県産材供給体制の一層の強化を図る。

### (2) 事業内容

#### (ア) 事業目的・事業効果

木材生産の拡大と安定供給を図るため、県産材の安定供給システムの構築に取り組む林業事業者等に対し、高性能林業機械等の購入、レンタルに要する経費を助成する。

#### (イ) 内容

補助対象 高性能林業機械等

(タワーヤーダ、スイングヤーダ、プロセッサ、フォワーダ等)

### (3) 県負担・補助率の考え方

補助率 1/2以内

### (4) 類似事業の有無

有（木材生産高性能林業機械導入促進（基盤づくり）事業費補助金 等）

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	57,000	高性能林業機械導入等の支援
合計	57,000	

### 決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

2 林業・木材産業の振興

(2) DXの推進による林業・木材産業改革

(イ) 木材の安定供給と森林所有者への利益還元

### (2) 国・他県の状況

国は国補助事業（林業・木材産業成長産業化促進対策交付金）において高性能林業機械の導入等の支援をしており各都道府県が活用しているが、物価高騰対策としての支援事業はない。

また、早急な対応が必要であり、通常の国補助事業のスケジュールでは、対応が困難である。

### (3) 後年度の財政負担

なし

### (4) 事業主体及びその妥当性

1) 事業主体：選定経営体等

2) 妥当性：国要領（林業・木材産業成長産業化促進対策交付金実施要領）に準ずるもので、事業主体として妥当である。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

### (事業内容)

補助事業名	木材生産緊急対策事業費補助金
補助事業者（団体）	事業実施主体：選定経営体等 (理由) 国事業に準ずる
補助事業の概要	(目的) 低コストでの原木の増産を図り、供給不足に起因する木材価格の急騰を抑制する。併せて、県産材の安定供給システムを構築し、需要の変動に迅速に対応できる生産体制の確立を図る。  (内容) 原木の増産と県産材の安定供給システムの構築に取り組む林業事業者等に対し、高性能林業機械等の購入、レンタルに要する経費を助成する。
補助率・補助単価等	定率 (内容) 1 / 2 以内 (理由) 高性能林業機械等の活用を促進するため
補助効果	原木の供給不足に起因する県産材製品の不足や価格高騰を抑え、消費者の木材離れを回避する。
終期の設定	終期 令和4年度 (理由) コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策事業のため

### (事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>高性能林業機械を活用した効率的な木材生産システムの導入を進める事業者を支援することにより、低コストでの原木の増産を図り、供給不足に起因する木材価格の急騰を抑制する。</p>
--

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	
					達成率	
①木材生産量 (千 $m^3$ )	576	576	600	600	600	96%
②木材生産性 ( $m^3$ /人日)	4.2	4.2	—	5.0	5.0	84%

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	—	—	—

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容と成果を記載してください。</li> </ul>
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和 3 年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>
(評価) 3	ウッドショックに加え、ロシア・ウクライナ情勢の影響により、海外からの木材調達が益々不確実となっており、県産材需要のさらなる増加、供給不足による木材価格の急騰が懸念されている。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</li> </ul>
(評価)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業が直面する課題や改善が必要な事項 機械オペレーターの育成</li> </ul>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策事業のため、今年度限り</li> </ul>
---